

省エネリフォームを
検討中の皆さん
必見！

補助金で省エネリフォームがお得になる！

冬暖かく、夏涼しい、エコで快適なわが家にするための

省エネリフォーム 補助金ガイド

2026年版

国の
補助金から
4つをご紹介！



新潟県環境局環境政策課



冬の寒さや夏の暑さを改善し、光熱費も削減できる省エネリフォーム。
でも、壁や窓、床下などをリフォームすると費用の負担も大きくなります。
そこで活用したいのが国の実施する補助金事業です。

省エネリフォームで使える国の補助金4選

断熱リフォームや窓リフォーム等で使える国が実施する補助金で注目したい事業をご紹介します

各補助金事業の最新情報はそれぞれのホームページからご確認ください。

先進的 窓リノベ 2026事業

窓・ドアの断熱

最大 **100** 万円

みらい エコ住宅 2026事業

開口部・外壁・天井・屋根
床下の断熱 等

最大 **100** 万円

給湯省エネ 2026事業

エコキュート
ハイブリッド給湯器
エネファーム

7~17 万円

既存住宅の 断熱リフォーム 支援事業

高性能建材使用の断熱

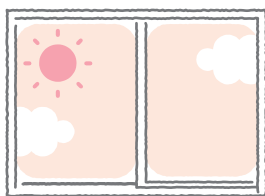
戸建て: **120** 万円
集合住宅: **15** 万円

※オプションによって上限額が加算されます

対象

補助額

環境省 先進的窓リノベ2026事業



先進的窓リノベ2026事業は、既存住宅等のエネルギー費用負担の軽減と住まいの快適性の向上を図るために、先進的な断熱窓の導入を促進する事業です。

対象となる住宅 既存住宅

※令和7年11月28日以降に対象工事に着手したものが対象

補助対象

- 内窓の設置
- ガラス・外窓の交換
- 玄関等、開口部のドアの交換
(窓改修と同一契約の場合)

※1申請あたりの合計補助額が5万円以上の工事が対象

補助金の上限額 **100** 万円/戸

窓断熱リフォームを実施すると約2万円/年の
光熱費の削減が期待できます！

出典：先進的窓リノベ2026事業 広報用資料

窓リノベ2026



先進的窓リノベ2026事業公式サイトはコチラから



国土交通省 環境省 みらいエコ住宅2026事業



みらいエコ住宅2026事業は、2050年カーボンニュートラルの実現に寄与する良質なストック形成を図るため、省エネ改修等への支援を行う事業です。

対象となる住宅 既存住宅

・平成28年12月31日以前に新築されたことが確認できる住宅
・平成29年以降に新築され、平成11年基準を満たさないことが証明できる住宅
※令和7年11月28日以降に対象工事に着手したものが対象

補助対象 【必須工事】①～③のいずれかが必須
①開口部(窓、ドア等)断熱改修
②躯体(床、壁、天井等)の断熱改修
③エコ住宅設備(太陽熱利用システム、高効率給湯器等)の設置
【付帯工事】
④子育て対応改修
⑤バリアフリー改修等
※補助対象となるのは「必須工事」を行う場合に限り

補助金の 上限額	対象住宅 ※11	改修工事	補助上限額 ※12
	平成4年基準を満たさないもの	平成28年基準 相当に達する改修	100 万円/戸
		平成11年基準 相当に達する改修	50 万円/戸
	平成11年基準を満たさないもの	平成28年基準 相当に達する改修	80 万円/戸
		平成11年基準 相当に達する改修	40 万円/戸

※11:「平成4年基準を満たさないもの」とは平成3年以前に建築された住宅など、「平成11年基準を満たさないもの」とは平成10年以前に建築された住宅などが該当する。
※12:補助額はリフォーム工事の内容に応じて定める額を合算した額。

みらいエコ住宅



みらいエコ住宅2026事業公式サイトはコチラから





給湯省エネ2026事業は、家庭でのエネルギー消費量が大きい給湯の省エネ化を促進を目的に、高効率給湯器への入れ替えを支援する事業です。

対象商品

エコキュート

- 基本額：7万円／台
- 性能加算要件：
基本の性能要件の機種と比べて、5%以上CO₂排出量が少ないものとして、2025年度の目標基準値（JIS C 9220 年間給湯保温効率又は年間給湯効率（寒冷地含む））+0.2以上の性能値を有するもの。
+3万円 → **10万円／台**

ハイブリッド給湯機

- 基本額：10万円／台
- 性能加算要件：
基本の性能要件の機種と比べて、5%以上CO₂排出量が少ないものとして、一般社団法人日本ガス石油機器工業会の規格（JGKAS A705）に基づく年間給湯効率が116.2%以上のものであること。
+2万円 → **12万円／台**

エネファーム

- 基本額：17万円／台
※性能加算なし

高効率給湯器の導入と同時に
電気蓄熱暖房機または電気温水器の撤去

- 電気蓄熱暖房機の撤去：4万円／台
- 電気温水器の撤去：2万円／台

補助上限
台数

- 戸建住宅：いずれか2台まで
- 共同住宅等：いずれか1台まで
- 電気蓄熱暖房機の撤去：2台まで
- 電気温水器の撤去：補助を受ける台数まで

給湯省エネ2026



給湯省エネ2026事業公式サイトはコチラから



既存住宅の断熱リフォーム支援事業は、高性能建材を用いた既存住宅の断熱改修を支援する事業です。（公財）北海道環境財団が執行団体として公募を実施しています。

- 対象となる住宅
- 戸建住宅
 - 集合住宅

- 補助対象
- ①財団が定める要件を満たしたガラス、窓、断熱材
 - ②財団が定める要件を満たした玄関ドア
- ※②は①と同時改修の場合

- 補助率
- 補助対象経費の1/3以内

- 補助金の上限額
- 戸建住宅：120万円／戸
※断熱ドア5万円を含む
 - 集合住宅：15万円／戸
+玄関ドアも改修する場合は最大20万円

北海道環境財団 断熱リフォーム



既存住宅の断熱リフォーム支援事業サイトはコチラから

お問い合わせ ☎ 011-206-1573

住宅省エネキャンペーンにおける

3省連携 2026

先進的窓ノベ
2026事業

みらいエコ住宅
2026事業

給湯省エネ
2026事業

3事業共通の音声ガイダンスでのお問い合わせはコチラから▼

住宅省エネ2026キャンペーン 補助事業合同お問い合わせ窓口



0570-081-789

IP電話等からの問い合わせ

03-6629-1646



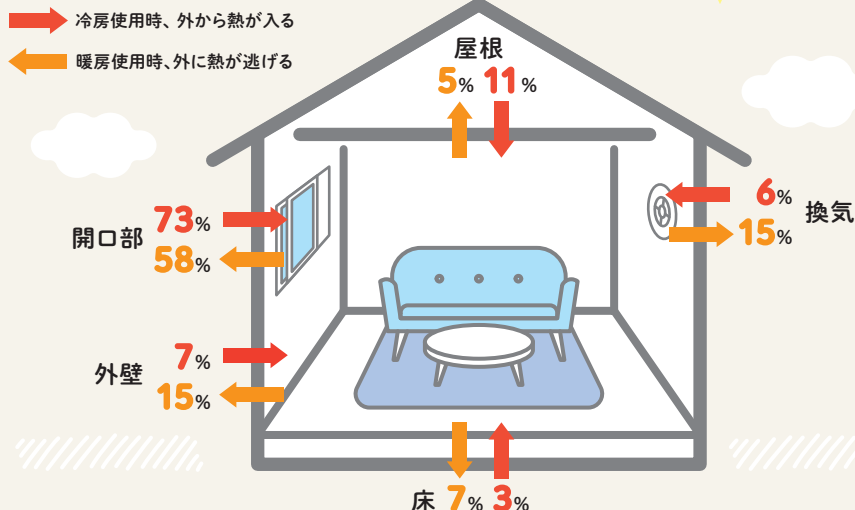
受付時間 9:00～17:00（土・日・祝含む）

住宅省エネキャンペーン2026の▲
総合サイトはコチラから

2050年
脱炭素社会の
実現に向けて

もっと快適でエコな暮らしのために 断熱リフォームを検討しませんか？

室温は、家の窓や壁、床や屋根等さまざまな部分から、外気温の影響を受けています。
部分ごとの熱の出入りを知り、効果的なところから断熱リフォームをはじめてみましょう！



断熱リフォーム30



住宅の断熱リフォームで、 省エネで快適に暮らそう！

断熱改修を行い住宅の断熱性能を高めた場合
※住宅の断熱等性能等級を2から4へ変更した場合

CO₂削減量 37.3kg 節約金額 2,110円

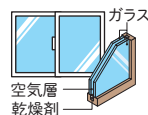
※1世帯2.5人(県内の世帯平均)として、1か月あたりの削減額を試算しており、設備導入に係る費用は見込んでいません。

効果が高い！窓の断熱

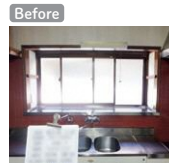
窓断熱

断熱リフォームを検討するなら、まずは効果の高い窓から。内窓の設置やガラス交換等は室内側の結露防止、防音等にも効果があります。また製品によっては防犯性も向上します。

カバー工法 + 複層ガラス



窓(外窓交換)

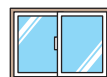


After

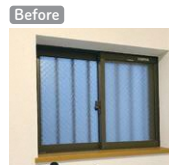


結露が軽減されてお掃除が
ラクになり、カビの発生がなくなった。

内窓の取り付け(二重窓)



窓(内窓設置)



After



窓からの冷気が減って、
窓の近くでも快適になった。

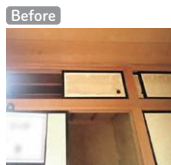
気温50℃以上になることもある天井裏を断熱

天井断熱

夏の天井裏の気温は50℃以上に達することがあります。天井裏に断熱材を敷き詰めることで、冬は室内から熱が逃げていくのを防ぎ、夏は天井からの火照りを抑え、暖冷房効果を高めます。

天井・外壁(断熱材)

After



暖冷房効果を高める外壁断熱

外壁断熱

外壁に断熱材を施工して冬は熱の流出を、夏は室内への熱の侵入を防ぎます。これによって暖冷房効果が高まり省エネに。



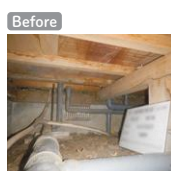
天井・外壁に
断熱材を入れることで、
部屋の温度差が無くなって
特定の場所が暑い・寒い
ということがなくなった。

足元の冷さを解消する床下暖熱

床断熱

冬の冷たさは足元から感じるものです。床下にマット・ボード状等の断熱材や気流止めを施工することで、冷気の侵入や底冷えを防止します。

床(断熱材)



After



床に断熱材を入れることで、冬でも足元が
冷たくなった。冷暖房効率が良くなった。

※居間だけ断熱等の部分的な断熱工事は、改修箇所によって断熱した暖房室と非断熱の非暖房室との温度差が大きくなり、ヒートショックや結露が発生する可能性があるもので注意してください。

出典：(公財)北海道環境財団断熱リフォームパンフレット・PRパネル

断熱リフォームを 利用された方の声

リフォーム内容や
その後の住み心地等は
こちらからご覧になれます

(公財)北海道環境財団ホームページ▶



補助金 申請は

リフォーム業者へ 相談するのが早道です！

「先進的窓リノベ2026事業」「みらいエコ住宅2026事業」「給湯省エネ2026事業」については、事業の事務局に登録した業者のみ申請手続きすることが可能なため、個人での申請ができません。事業者登録していない業者も申請ができませんので登録業者かどうかは各事業のホームページ等で必ず調べて相談しましょう。

